

Orkney GIS DataNetwork 接続手順 (Quantum GIS 1.0)

2009年6月 株式会社オークニー

Orkney GIS DataNetwork とは

Orkney GIS DataNetwork は、クライアント GIS ソフト向け地図データ画像の配信サービスです。

- ◆ OGC (Open Geospatial Consortium) が策定した WMS (Web Map Service) に準拠
- ◆ インターネットへのアクセスさえ可能であれば利用可能
(クライアントマシンへの大容量の背景地図データのインストールは不要です。)
- ◆ 「MapFan」で定評のあるインクリメント P 社の高品質な日本全国の地図データ
- ◆ 利用料金は年間5万円(月あたり2万アクセスが上限となります)

Orkney GIS DataNetwork 接続手順

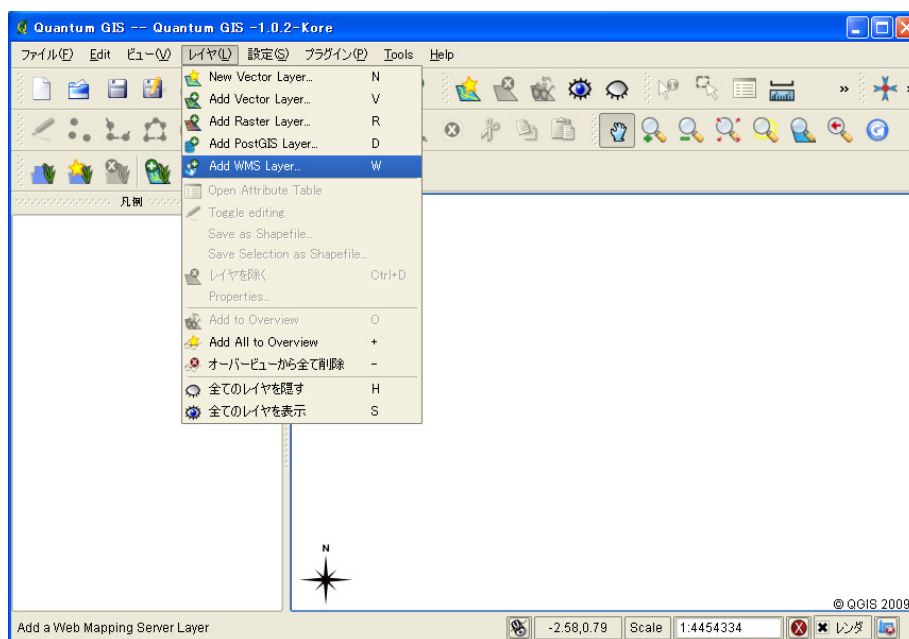
次の手順により、Orkney GIS DataNetwork へのアクセス準備を行います。

1. ユーザーID およびパスワードの発行
2. ユーザーID によるログイン

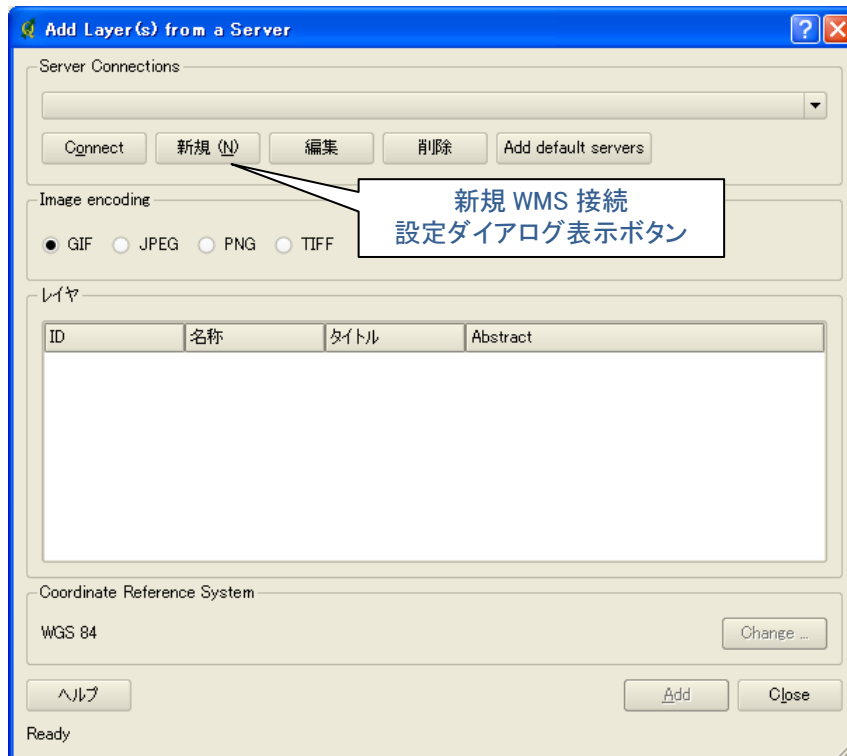
クライアント GIS ソフト側の接続手順(Quantum GIS 1.0 の場合)

上記手順が完了したら、WMS アクセス URL をクライアント GIS ソフト(Quantum GIS 1.0)に設定して、WMS サーバを参照し、必要なレイヤを開き、地図を表示します。

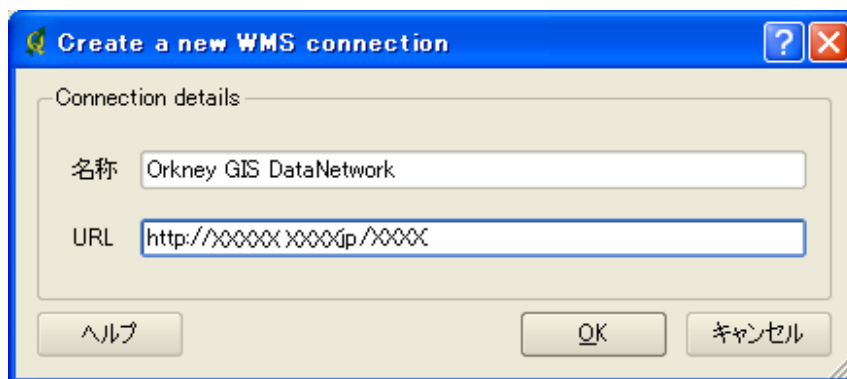
1. Quantum GIS を起動し、[レイヤ(L) → Add WMS Layer...]をクリックします。



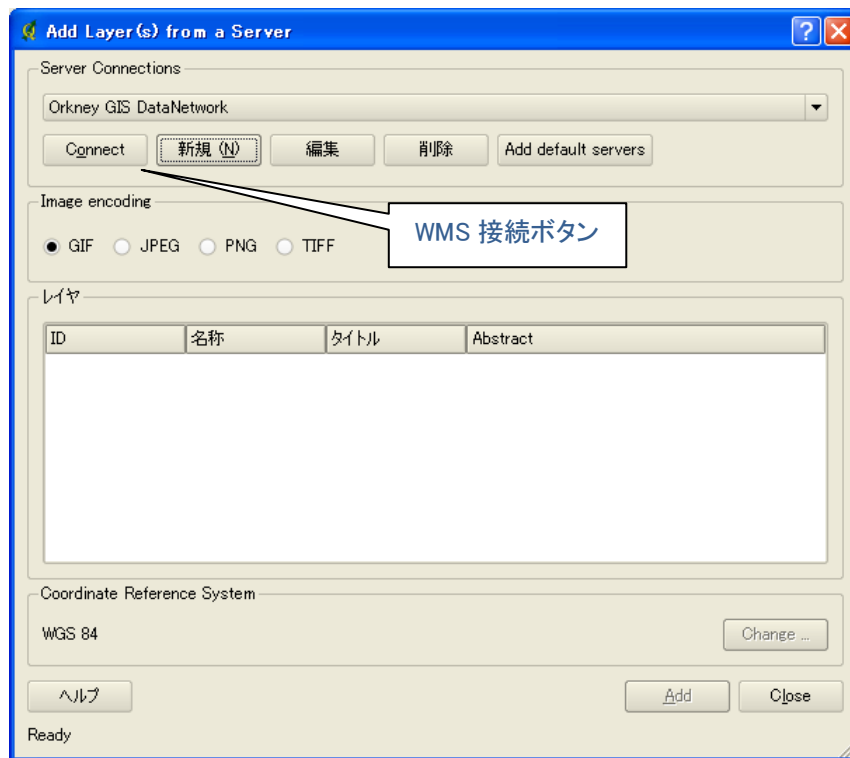
2. 「Add Layer(s) from a Server」ダイアログが表示されたら、[新規(N)]ボタンをクリックします。



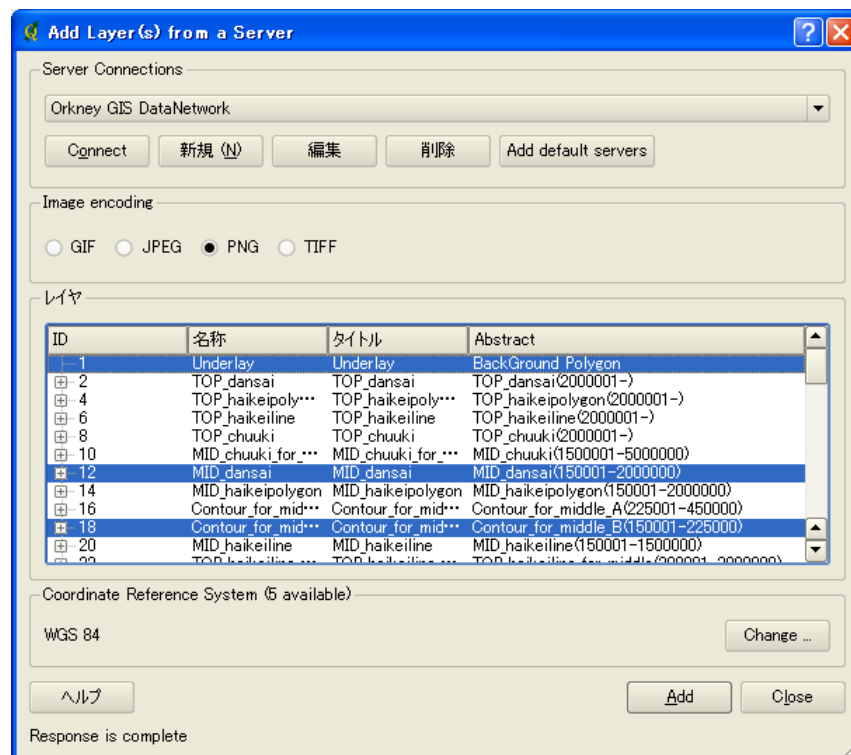
3. 「Create a new WMS Connection」ダイアログが表示されたら、「名称」に任意の名称と、「URL」に WMS アクセス URL を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



4. 「Add Layer(s) from a Server」ダイアログに戻ったら、「Connect」ボタンをクリックします。



5. 接続に成功すると、本サービスで利用可能な WMS テーブルが「レイヤ」欄に表示されます。



①「Image encoding」欄で、表示させたい地図画像のフォーマットを選択します。
※Quantum GIS version1.0.1-Kore を使用されている場合、GIF を選択すると不具合が生じます。

②「レイヤ」欄で表示させたいレイヤをクリックを選択します。
選択したレイヤは青に色が反転します。複数選択も可能です。別紙「Orkney GIS DataNetwork レイヤ仕様書」を参考にレイヤの選択を行ってください。

③レイヤ選択後、「Add」ボタンをクリックします。

<Tips>

Orkney GIS DataNetwork では、以下の投影法で表示することができます。

・緯度／経度

世界測地系:JGD2000(EPWG:4612)

日本測地系:Tokyo(EPWG:4301)

世界測地系:WGS84(EPWG:4326)

・メルカトル図法

WGS 84 / World Mercator(EPWG:3395)

世界測地系平面直角座標 1～19 系(EPWG:2443～2461)

日本測地系平面直角座標 1～19 系(EPWG:30161～30179)

Google maps(EPWG:900913)

・平面直角座標

世界測地系平面直角座標 1～19 系(EPWG:2443～2461)

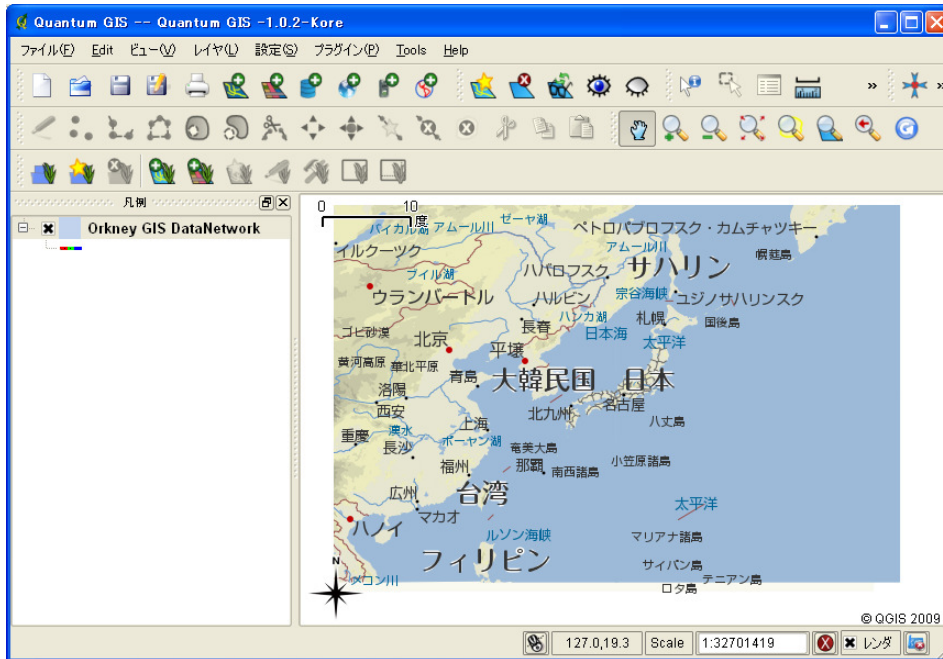
日本測地系平面直角座標 1～19 系(EPWG:30161～30179)

Quantum GIS 1.0 では、緯度／経度、および、WGS 84 / World Mercator(EPWG:3395)、世界測地系/日本平面直角座標 1～19 系(EPWG:2443～2460)、日本測地系/日本平面直角座標 1～19 系(EPWG:30161～30179)が利用できます。

【投影法の変更方法】

- ①「Add Layer(s) from a Server」ダイアログの「Coordinate Reference System」欄中の「Change」ボタンをクリックします。
- ②「投影法選択」ダイアログが表示されます。
- ③WMS サーバに対するリクエストが実行され、WMS 経由の地図データが表示されますので、「Coordinate Reference System」テーブルより投影法を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

6. WMS サーバに対するリクエストが実行され、WMS経由の地図データが表示されます。



7. 通常の地図レイヤと同様に拡大・縮小・移動などの操作が可能です。

